

【別紙1】

経営比較分析表

山口県 阿武町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	60.48	3,320

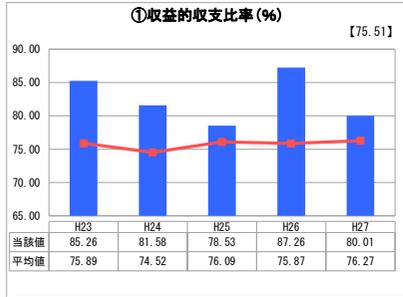
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
3,581	115.95	30.88
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
2,147	9.60	223.65

グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)

【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



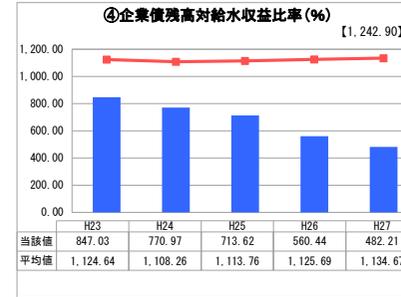
「単年度の収支」



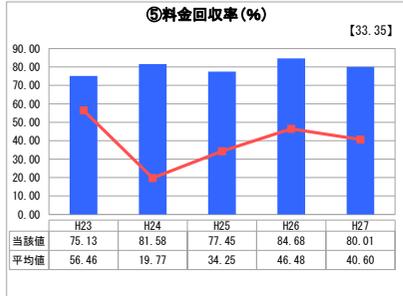
「累積欠損」



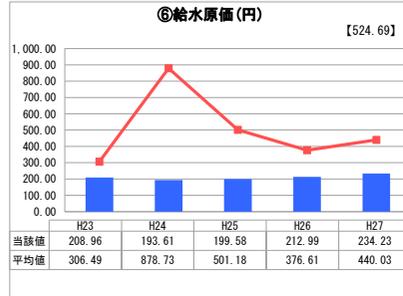
「支払能力」



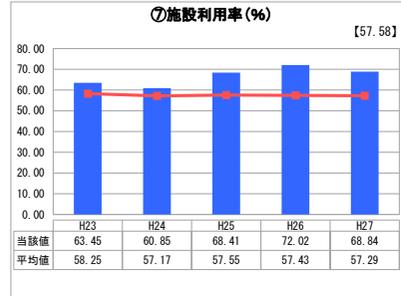
「債務残高」



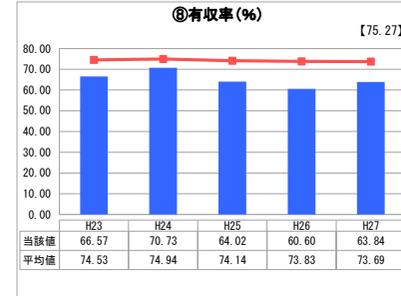
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

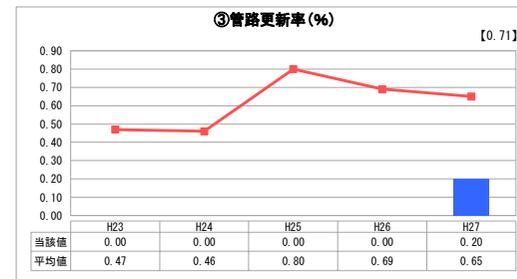
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は、平成26年度の料金値上げを行ったが、管路及び設備の老朽化により改修費用が増加しているため昨年より低下している。漏水管を一部修繕したため有収率は昨年より増加している。今後も老朽管、設備等の修繕費用が向上傾向になることが予想されるため料金回収率を上げるとともに、適宜料金を改正することにより更新費用を捻出していく。

2. 老朽化の状況について

法定耐用年数を越える管路を更新するための計画を現在作成中であり、平成30年度から毎年約1kmずつ管路の更新を行っていく予定である。

全体総括

平成26年度の料金改定により収益的収支率は上昇したものの、未だ100%には届かず一般会計繰入金に依存している状況である。今後の更新費用を鑑みて料金設定の改定、及び維持管理費の削減により対応していく。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。